

2008年度 島マス記念塾 講義過程表

入塾式・・・2008年4月9日(水)

卒塾式・・・2009年3月13日(金)

【講義】

時間割	内 容	時 間	備考
第1時限	講義 主として講師による講演 [講師 塾生]	19:00～20:30	1コマ
第2時限	講義 (講義に関する)フリディスカッション・質疑応答など [講師 塾生]	20:45～21:30	1コマ
第3時限	YUNAGATA会議 課題別研究・ブレインストミグ・塾生会活動など [塾生 塾生]	21:30～21:50	

月	日	曜	テ - マ	講 師 名
4	18	金	島マスの人生と福祉 =その精神を継承する島マス記念塾=	名 嘉 隆 一
5	2	金	バリアフリーな沖縄を作るために	高 嶺 豊
	30	金	PA(プロジェクトワイルド)を活用した仲間づくり	中 根 忍
6	27	金	沖縄の歴史と文化 =沖縄戦の教訓と継承=	嶋 津与志
7	11	金	ワークショップ「集団創造化プログラム」で塾生の関係づくり	石 原 絹 子
	25	金	地域が文化を創る。文化が地域を作る。	幸 喜 良 秀
8	8	金	地域と精神医療	新 垣 元
9	5	金	沖縄経済=自立へのシナリオ=	宮 城 弘 岩
	19	金	ディベート<上期>	コーディネーター 卒塾生予定
10	3	金	悠久の歴史浪漫への誘(いざな)い =首里城=	恩 河 尚
	31	金	民間信仰 =沖縄の信仰と祈り=	稲 福 みき子
11	28	木	こどものまち宣言について	屋比久 功
12	12	金	新しい時代と個人の尊厳 =あなたらしく生きているか=	比 嘉 盛 久
	22	日	美ら言葉(ちゅらくとぅば) 歌三絃(うたさんしん)	前 川 守 賢
1	9	金	日本人こそアジアの子ども達から学んで欲しい	池 間 哲 郎
	23	金	情報の技術、時代と地域	稲 垣 純 一
2	6	金	島マスの生きた戦後のコザ社会 =その思想を形成した土壌とは? =	津 野 武 雄
	20	金	ディベート<下期>	コーディネーター 卒塾生予定

【フィールドワーク・・・】

月	日	曜	名 称	内 容	時 間	備考
5	17	土	「バリアー」体験学習ツアー	沖縄市胡屋商店街周辺など	13:00～18:00	2コマ
8	23	土	沖縄市の戦跡見学研修ツアー	倉敷陣地壕、奉安殿・忠魂碑など	13:00～18:00	2コマ
10	18	土	首里城及び周辺歴史探訪ツアー	首里城、金城町石畳道、玉陵、識名園など	13:00～18:00	2コマ

【キャンプセミナー】

月	日	曜	季 別	内 容	時 間	備考
6	14 ～ 15	土 ・ 日	夏 季	セミナー スピーチマラソン コーチ 卒塾生予定	土の13:00 出発	4コマ
				セミナー デイベート研究 コーチ 卒塾生予定		
				交流会(直前卒塾生<第15期>・塾生・塾務会委員)	日の13:00 到着	
11	15 ～ 16	土 ・ 日	秋 季	セミナー 卒塾生選抜「まちづくりミニ・シンポジウム」	土の13:00 出発	4コマ
				セミナー オプション コザのライブハウス ナイトツアー		
				セミナー 沖縄市社協の沿革と業務	日の13:30 到着	
				交流会(第16期生vsシンポジストvs塾友会選抜)		

講義のテーマは、すべて仮称・仮題です。

カリキュラムは講師の都合により変更される場合もあります。この場合日程の変更はありません。